

「学校における働き方改革北海道アクション・プラン」に基づき、本町のアクション・プランの見直しや校務パソコンの更新などICTの活用による校務の効率化を推進するとともに保護者・地域との連携協働により、教職員が自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行う体制整備を進めてまいります。

教育環境の充実につきます。

「白老町小中学校適正規模適正配置基本計画」に基づき、望ましい教育環境のあり方について子どもたちや保護者、地域の方の意見なども頂きながら、外部有識者による検討会議を設置し、実施計画を定めてまいります。

また、暑さ対策につきましたは、長期休業を延長するとともに、各学校の室内環境などを調査し、子どもたちの安全安心の確保と適切な学習環境づくりを進めてまいります。

生涯学習の推進

主体的な学びへのきつかけづくり

成人教育の推進につきましたは、急速なデジタル化に向けた知識習得など多様な学習ニーズへの対応や、地域の課題

解決に向けた町民の協働による取り組みを促進するため、公民館などの社会教育施設において、さまざまな地域人材を活用した公民館講座事業を引き続き実施してまいります。

また、本年9月に白老町婦人団体連絡協議会が主管する「第75回北海道女性大会」が白老町で初めて開催されることから、円滑な大会運営に向けて支援してまいります。

読書活動の推進につきます。

「第五次白老町子供の読書活動推進計画」に基づき、家庭や地域、学校などとの連携および相互協力による読書普及活動を図るため、昨年度より準備を進めてきた「おもいで読書帳」を、乳幼児がいる家庭や各小中学校などに配布し、読書の思い出をつくる家読の促進を図ってまいります。

さらに、多様化し、高度化する利用者ニーズに対応するとともに、きめ細かなサービスの向上に努め、多くの町民に親しまれる図書館づくりを目指してまいります。

学びや活動を通じたつながりづくり

スポーツ・健康増進活動の推進につきましたは、保健福祉部局との連携を

さらに強化するとともに、町内関係団体や総合型地域スポーツクラブ・サフィルクアなど、熱意ある多様な団体と共に子どもから高齢者まで幅広い世代が親しめる軽スポーツまつりなどのイベントを開催してまいります。

また、どの地域の子どもたちも多種目の競技に挑戦することができるマルチスポーツの普及促進を図るなど、町民のスポーツに触れる機会の創出と生きがいづくりや健康増進につなげる取り組みを進めてまいります。

さらには、本年、旧大昭和製紙野球部が都市対抗野球大会で優勝して50年目を迎えることから、同野球部OBによる記念講演会をはじめ、町民との交流事業や北海道社会人野球大会の開催を招致し、野球を通して町民のスポーツに対する興味関心を高めてまいります。

高齢者教育の推進につきます。

高齢者大学が昭和49年の開校から創立50周年を迎えるに当たり、これまでの歴史を振り返り、記念式典および記念誌発行などの周年行事を執り行ってまいります。

また、大学の主な活動拠点である高齢者学習センターは老朽化が著しいことから、令和7年4月に旧社台小学校へ機能を移転し、大学のさらなる魅力向上を図